

朝日カルチャーセンター 野外の自然観察
篠栗遍路道

10月15日（金） 参加者 17名

JR 篠栗線 筑前山手駅を起点にして、篠栗八十八カ所霊場を巡りながら自然観察を楽しみました。総行距離は約 5,5 kmで札所 8 カ所と寺院 1 カ所、坂道あり、竹林あり、スギ林あり、車道もあって変化にとんだコースを歩きました。

各札所には十三仏が安置されて、それぞれに仏事供養が割り当てられた仏様だということです。地域の方が花を供えてお守りされています。

空は高く秋晴れの最高の天気でしたがまだ日差しは強く、時々吹く風に助けられました。足元に気を付けながら登る念仏坂。あやしげに光るコンテリクラマゴケが広がっています。たどりついた札所の地蔵堂の前にボダイジュが実をぶら下げていました。次の札所まで小さな花の群れが続きます。真っ盛りのミゾソバのピンク、やさしげなヨメナの紫、シロヨメナの花もしゃっきりと咲き、ヒヨドリバナもまだたくさん咲き残っています。繊細なイネ科のヌカキビやカゼクサも混じって寄せ植え状態。まさに「花野」です。



今回、唯一の寺院である二ノ滝寺では丁度ご住職が滝行をしておられました。

車道を上って行くと、途中で耕作放棄地なのか一面にセイタカアワダチソウの黄色い花。あまり歓迎されない植物ですがこれは壮観です。たわわに実る柿などを見ながら今回の最高地点の仏木寺へ。ここで昼食をとり、これから竹林や杉林をひたすら歩くへんろ道へ入ります。一人がやっと通れる山道を長一い行列で歩きました。スギの大木やコウヤマキの大木がある観音堂に到着しました。篠栗霊場八十八カ所を開いた藤木藤助翁の石像に挨拶をして、出発地点の筑前山手へ向かいました。アサギマダラの優雅に飛ぶ様子に出会ったり、ウバユリの実やセンニンソウの白いヒゲの実を眺めたりしながら予定より少し早めに駅に着いて解散しました。



担当 小湊 溝口（記）